

サッカーの街こうべめざして
第5回
神戸ミニサッカー大会

第5回神戸ミニサッカー大会は9月14日、前日まで秋雨前線の停滞で雨ばかりだったのが突然晴れ上り、申し分のない天候に恵まれて、ポートアイランド球技場で開かれた。昨年は、ユニバーシアード神戸大会がちょうどこの時期に行われたことで、準備の都合から中止せざるを得なかった。

今年はワールドカップの年でもあり、マラドーナを中心として、華麗なプレーに醉ったサッカーファンの心もさめやらぬ空秋のもとで、サッカーの街、神戸をめざして大会を開催できたことをうれしく思っている。

社会人8、中学生24、少年(1、2年から5、6年)76、少女28、障害者6、母親12、各チーム10名登録の合計154チーム、約1,600名の参加で盛大に行われた。試合は一試合6分×6分の試合時間、予選リーグと決勝トーナメントで技を競い、212試合を行った。

少年少女のボールを追う姿、母親の体力づくりとしてのサッカー、また障害者のハンディーをのり越え一生懸命ボールを追いプレーする様子は、試合を待つ選手や観衆の心を魅了した。楽しい一日を過ごすことができ、これからも神戸の街のすみずみで、小さな広場で、ボールを蹴る姿が見られれば非常に幸いです。

前夜ラインを引き、当日7時から設営をし、奉仕の精神で審判や裏方をつとめて下さった方々、又後援をしていただいた神戸新聞厚生事業団、協賛をしていただいたモンブラン、ヤンガー、モルテン株式会社の方々に厚く御礼申し上げます。この大会をいつまでも続けられることを期待します。高見 豊

決勝トーナメント準決勝からの記録

社会人 優勝 KR & AC	2-1	川重発本
少年の町	3	
中学生 優勝 友が丘中	3	広陵
中学1年	1	八多
少年I(5、6年)成徳A	2	新多聞A
少年II(5、6年)千歳A	0	神陵台A
少年III(3、4年)神陵台B	1	福住A
少年IV(1、2年)鶴越B	0	木津A
少女I(5、6年)ひよどり台B	0	東舞子A
少女II(4年以下)木津B	1	多井畑B
障害者 優勝 あけぼのA	2-0	福住D
母 親 優勝 ひよどり台A	0	木津C

昭和61年度
兵庫県社会人リーグ 前期を終了

昭和61年度兵庫県リーグは4月6日に開幕6月1日まで、ポートアイランド球技場、神戸高校、西淡町民、神戸総合サブ、夢前、ヤンマー、各グラウンドで36試合を行った。

昭和61年度 兵庫県社会人リーグ前期成績表 (下段は、後期途中記録)

	神戸FC	三木	西淡	明倫	兵庫	新日鐵	神戸市役所	勝	引	負	勝点
神戸FC	○2-1 X0-1	○4-2 △1-1	○2-1 ○4-1	○3-0 ○2-1 ○0-1	○3-1 X1-2	○3-2 ○5-0	○5-0 ○5-0	7	1	14	1
三木	X1-2 ○1-0	△1-1 ○2-1	○3-1 X1-3	○2-0 △0-0	○3-1 X2-3	○6-0 ○1-0	○3-0 ○3-0	6	1	1	13
西淡	○2-4 X1-2	△1-1 X1-2	X1-7 X3-6	○1-0 ○1-0	○3-1 ○1-0	○4-2 ○2-0	○2-1 △2-2	5	1	2	11
明倫	X1-2 △1-1	○1-3 ○3-1	○7-1 ○6-3	X2-1	○1-2 X0-3	○4-3 ○4-3	○5-0 ○2-0	5	3	10	4
兵庫	X0-3 X1-4	○2-0 ○2-0	○0-1 ○0-1	X1-2	○2-1 X1-2	○5-0 △1-1	○4-0 ○3-1	4	4	8	5
新日鐵	X2-3 X0-3	○0-1 ○0-2	X2-4 X0-2	○0-5 △1-1	○0-4 X0-3	○1-2 ○4-3	○0-2 ○1-0	1	7	2	8
神戸市役所	○0-5 X1-5	○0-3 X1-4	○1-2 △2-2	○0-2 X0-2	○1-3 ○2-1	○1-0 △1-2	○0-2 X0-1	1	7	2	9

関西社会人選手権大会

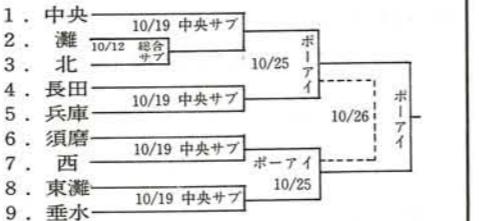
第22回全国社会人サッカー選手権大会関西大会は8月3日、10日、17日、24日と、奈良鴻池、紀三井寺、京都太陽ヶ丘、大阪鶴、神戸総合サブグラウンドで行われ、5ブロックで全国大会出場の座をかけて熱戦を展開した。

関西社会人選手権大会結果

神戸市総体の組合せ決まる

第35回神戸市総合体育大会サッカー競技の抽選が9月25日教育委員会で行われ、次のように決った。本大会出場チームのうち東灘、灘、中央、北、長田、西の各区は選抜チーム、兵庫は三菱電機、須磨は須磨クラブ、垂水は神戸高専が代表となった。

神戸市総合体育大会組合せ



審判研習会のお知らせ

- 11月8日(土) 県リーグ・1部・2部・特設の各ブロックに属する人
- 11月15日(土) 3部の各ブロックに属する人
- 会場 両日とも神戸市勤労会館4階会議室(国鉄三宮駅 南側を東へ150m)
- 時間 PM 6:00~8:00
- 対象 3、4級の資格取得者
- 持ち物 ①審判手帳(再発行は写真2枚と500円) ②ルールブック(無い方は1冊500円で販売) ③受講料500円

神戸市社会人運営会議予定
次回 11月20日(木)

12月18日、1月22日、2月19日、3月12日、3月19日。いずれも18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(511)2234
☎078(592)0470

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8
国鉄元町駅南側東へ100m ☎078(392)0234

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザーショップ、トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
阪神深江駅北側信号西
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

本紙は右記の店にもあります



ユハイム



1986 9・10月号
発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎ (078) 232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078) 861-3100
毎月1回10日発行 購読料1部50円

『日本選抜』対『ブラジルサンパウロ州選抜』国際大会

ブラジル・サンパウロ州選抜を招いて9月6日、神戸総合運動公園競技場で日本選抜が対戦した。日本選抜は86年ユニバーシアードの選手を中心に構成したチームで、長いパスを多用する攻撃を見せたが、サンパウロは巧みな足技と鋭いパスワークで日本選抜を圧倒。特にマリオ・セルジオの絶妙なプレーが観衆を魅了した。

9月6日、神戸総合運動公園競技場

日本選抜 0 (0-1)
0 (0-1) 2 サンパウロ州選抜
【得点】デノ (2)

今回の日本・ブラジル国際サッカーは日本代表の「アジア大会壮行試合」と銘打って、ブラジルから強豪プロを呼んだもの。日本各地で3試合戦い、第1戦は9月4日名古屋で日本リーグ選抜と、また最終戦は9月8日東京国立競技場で日本代表と顔を合わせた。

このうち第2戦が、昨年8月から9月にかけて行われたユニバーシアードの1周年記念試合として神戸で開催。宮崎神戸市長が3万人を超える観客の前で「明るい神戸づくりのためにスポーツ行政を積極的に展開したい」とあいさつされたあと、キックオフ。試合は立ち上がりからサンパウロ州選抜の噴きを誘うようなプレーの連続。ワールドカップで5得点をあげたカレッカが来日できなかったがマリオ・セルジオ、レオン、オスカルなどが顔をそろえるサンパウロ州選抜は、そのまま代表としても通用するほどの実力を誇る。もともとブラジルでは州単位の選抜チームで戦うことは非常に珍らしい。



▲主審の長岡氏を囲む試合前の両チーム
写真提供 富士信男氏

照明に鮮やかに映えるグリーンの上で、サンパウロのリズムに合わせる柔らかい身のこなしを武器に、ボールを巧みにあやつり日本ゴールへ迫った。マリオ・セルジオをはじめブラジルの選手のプレーをみてると、サッカーが簡単そうに見えるから不思議だ。この日の日本選抜の攻撃を見るものは少なかつたが、サンパウロの「ワールドクラス」のサッカーを存分に楽しんだファンは、また一つ新しいサッカーの魅力を知ったに違いない。



▲1部優勝 千歳SC・A



▲2部優勝 神戸FCボーヴィズC

神戸兵庫ライオンズクラブ杯大会
千歳A男子1部を制す

2部は神戸FC、3部は多井畑女子優勝

第8回神戸兵庫ライオンズクラブ杯争奪少年サッカー大会(神戸兵庫ライオンズクラブ、神戸市サッカー協会主催、神戸新聞社後援)は8月24日から9月23日まで御崎少年グラウンド外で行われた。開会式は8月30日、御崎少年グラウンドで行われ、昨年度1位から4位までの表彰チームより、カップ、トロフィー、盾が返還され、レプリカの贈呈があった。1部(5、6年男子)70チーム、2部(3、4年男子)46チーム、3部(女子)に23チームが参加しトーナメント戦を行い、9月23日決勝戦が行われた。1部は千歳Aが初の決勝進出の高倉台を破り初優勝。2部は神戸FC・CがみさきDを下し2年連続4回目、3部で多井畑Aが桜の宮Aを破り2年連続2回目の優勝を飾った。高倉台A(1部)、みさきD(2部)、桜の宮A(3部)が初の決勝進出、みさきA(1部)が三位に入賞するなど新しいチームの台頭が目立った大会だった。

2部(9月23日、御崎少年) 決勝(9月23日、御崎少年) 神戸FC・C 3 (2-1) 2 みさきD
神戸FCは成徳Cを破り決勝へ進出、みさきは多井畑Dを破っての進出である。
4分神戸FC吉良のシュートがバーに当たり、そのボールが戻るみさきのGKに当たってラッキーな得点をあげ先制した。しかし、

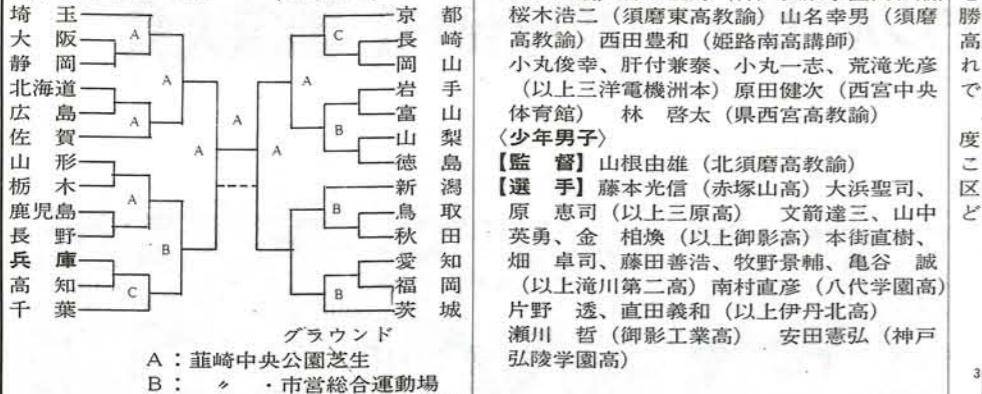
前半終了間際、多井畑は安西、富田、池田とパスがつながり池田が先制ゴールを決めた。後半に入り、再び多井畑はCKから富田が追加点をあげ、試合を決めた。
桜の宮は後半永橋を攻めさせ反撃を試みたがパスが思うようにつながらず得点に結びつかなかった。

神戸FC 天野泰男

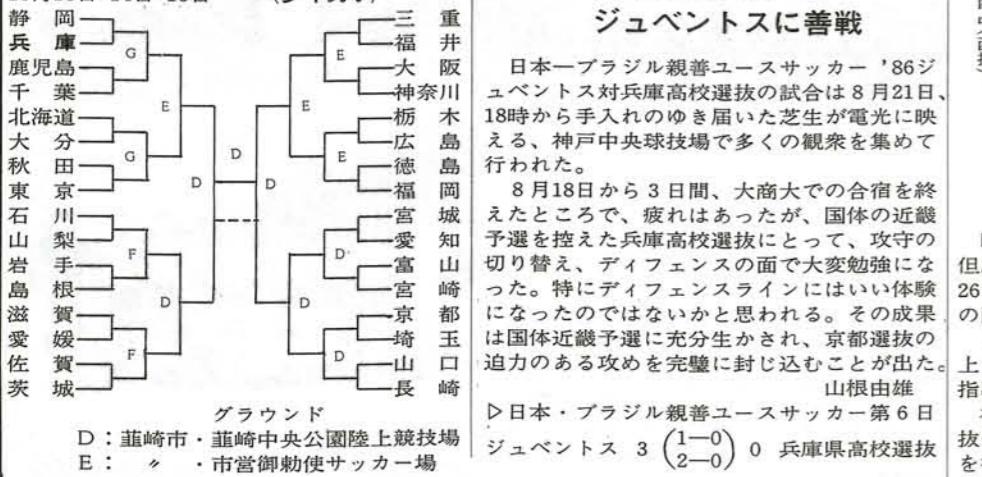
第41回国体に成年、少年アベック出場

近畿での代表決定戦をそれぞれ勝ち抜いて本大会出場を決めた兵庫県選抜成年男子と少年男子チームは、10月13日から山梨県韮崎市で行われる第41回国民体育大会秋季大会に出場する。

第41回 国民体育大会サッカー組合せ
10月13日・14日・15日 (成年男子)



10月13日・14日・15日 (少年男子)



神戸市少年リーグ後期(全市リーグ)開幕 12月30日 神戸中央メイン(決勝)をめざせ!!

4月13日に開幕した昭和61年度神戸市少年リーグは夏休み明けの9月から後期リーグに入り、いよいよ大詰めをむかえる。今年度は参加選手3,800人を越えるマンモスリーグとなった。これまで通り1部(男子6年以下)、2部(同)、3部(男子4年以下)、4部(女子6年以下)、5部(女子4年以下)に部門を分け4月から7月までは、東、中、西北の4地区で前期リーグを行い9月から全市で後期リーグを行う。また新たに勝負よりゲームを楽しむ「Bリーグ」を2部と3部に新設し、全市では順位を決めず、年間を通して4つの地区で消化することになった。

今年度新しく登録された団体は平野FC、SNS C、マックFC、西平野SC、小部東SCの5団体で仲間がまた広がった。

1部の決勝、三位決定戦は12月30日、憧れの神戸中央球技場で天皇杯の前座として行われる。今回注目されるのは千歳が史上初の四連覇を成しとげるかどうか——、千歳は先ほど行われたライオンズ杯でも優勝しその可能性は充分考えられる。1部は8チームごとに2組に分かれて各組の一位同士が決勝を、二位同士が三位決定戦を行うことになっている。

1組ではその千歳とライオンズ杯準優勝の高倉台、同三位の神戸FCが入ってしまった。高倉台、神戸FCともライオンズ杯で千歳に苦敗しているだけに巻き返しを狙っている。

少年委員 天野 泰男



株式会社 モルテン
広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

高丘中総合体育大会で優勝

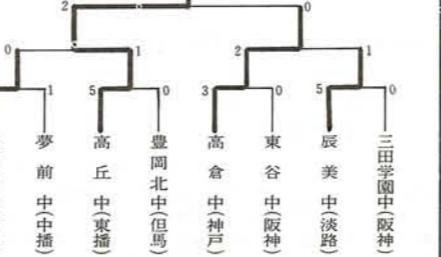
第38回兵庫県中学校サッカー大会兼第30回兵庫県中学校総合体育大会は7月28日と29日神戸中央球技場に県下8地区の代表を集めて行われた。

決勝は東播代表、高丘中と神戸代表高倉中の対戦となり、結果は2-0で高丘中が勝ち優勝となった。

神戸市代表の高倉は1回戦よりロングパスをうまくつなぎ、よく走る高倉らしい試合で勝ち抜き、決勝戦まで進出したが、決勝では高丘の個人技のあるプレーに主導権をうばわれて、思うように自分たちのペースで試合ができず、後半に2点を取られて惜敗した。

36回、59年度は御原中(淡路)。37回、60年度は若草中(阪神)。今年は高丘中(東播)と、この大会の王者は全く予測がつかない。各地区に経験をつんだ少年がたくさん出て来て、どこから良いチームが現わてもおかしくない。

兵庫県中学校総合体育大会結果



兵庫少年技術講習会

豊岡市で開催される

昭和61年度兵庫少年サッカーテクニカル講習会が但馬サッカー協会少年委員会の主管で、7月26日、27日に豊岡市立港東小学校、港中学校の両校グラウンドで開催された。

この講習会はサッカー少年に対する技術向上と、指導者に対する指導方法見学、及び、指導者相互の情報交換を目的としている。

神戸市選抜6年をはじめ、県下各地域の選抜チームが参加し技術指導をうけ、交歓試合を行った。神戸市選抜は、対川西(4-0)、対西宮(5-0)、対中筋(5-0)と内容の良い、試合展開ができていた。

試合終了後、優秀選手が選出され、その中から神戸の北田、那須(KFC)の両君が、関西トレセン大会のメンバーにえらばれた。

神戸市選抜
監督 伊庭吉和 (少年委員会 小部東小)
コーチ 天野泰男 金田篤佳 (神戸FC)
選手 北田伸行 那須健司 祖川治 中村征司 田村良介 (KFC) 岡部浩一郎
杉本浩一 三宅朝則 (夢野) 中嶋英雄 春正一郎 (みさき) 山根良徳 伊勢崎レオ
中津康裕 (ひよどり台) 李佳弘 (西神戸朝鮮) 西脇裕伴 玉田満正 高橋知行 (つづじが丘) 山崎大助 直島正治 (神戸朝鮮) 有吉智規 (木津) 金炳潤 (東神戸朝鮮)
MCA・Aも上位を狙っている。2組では多井畑B、北五葉Bが上位を占めそうだ。3部も6チームづつ2組で行う。1組ではみさきC、成徳C、北五葉Cが、2組では神戸FC・C、多井畑Eといったライオンズ杯で活躍したチームが決勝へ進出しそうだ。

女子の4部はライオンズ杯優勝の多井畑A、準優勝の桜の宮Aが優勝候補、5部は木津、高倉台、夢野、多井畑が元気があって活躍しそうだ。女子の4部はライオンズ杯優勝の多井畑A、準優勝の桜の宮Aが優勝候補、5部は木津、高倉台、夢野、多井畑が元気があって活躍しそうだ。

少年委員 天野 泰男

日本サッカーにルネサンスは起こるか? (30)

枚方FC 近江達

悪くなったり、好選手を潰してしまうことがよくあると聞く。

少年野球でも同じである。アメリカ帰りの小学生が大好きだった練習が嫌いになった。「アメリカではコーチがコツを教えてくれるだけで、もっと自由だったのに、日本は自由に打たせてくれない。何もかも指図して決めてしまう。バカ、マヌケなどととなる。学校だって、アメリカの方が言葉はわからないのに楽しかった。勉強だけでなくいいところを貰めてくれた」と言った。例の管理野球というやつである。

個性的で自己主張の強い連中のことだから十人十色は当たり前だが、大切なのは、彼らが型や形でなく機能を重視することである。先日、米国から日本の企業に市電の注文があった。我国の車輌は防火のため床や壁は金属以外禁止という具合に材料が指定されているが、アメリカの規定は日本と違っていて、ある程度に達したときでも燃えないものなら何でもいいことになっている。そのためこういうもので作ってくれと注文されたが、こちらはそんな材料を使ったことがないので困ったという一幕があったらしい。

アメリカ人など教師でも机に腰かけたり足を乗せたりして話すことがある。ブラジルでは指導者がカンカンになって説教しているのに、選手は平気で寝そべっていたりする。それでも彼らは、聞くことは聞き、やるべきときにはやるべきことをやる。だが日本人にはそれができない。

真面目なことをするには真面目な恰好や態度、言葉づかいがいる。またそうすることで精神面まであらため、その気になってくる。外面(恰好や態度、行動)と内面(心や精神)とがセッティングになっていて、条件反射のように連動するところがある。それも、形や型、一定の行動様式から入り、それに従って固めていくという方式が、とくに我国で伝統的に愛用される一因であろう。

個性と機能の重視

どう直せばいいか、という質問に、「自分で直しなさい。自分でやらないと、いい選手にはなれない。

——デューク・スナイダー・コーチ

通常、我国のチームスポーツではまずチームとチームプレーの目標にしたい型や行動様式を決めて、それにあてはまるように選手を教育していく。チームの勝利を目指してつねに緊張感が張りついたグラウンドには、個性が伸びやかに育つ余地などとてもありそうではない。外国は日本ほど型にとらわれてない。なかでも、西欧、とくに南米は日本と反対に、選手が先で、選手が作り出すものがチームプレーになる。この辺の相違はサッカーよりも野球の方がわかりやすい。

アメリカの大リーガーは打ち方も投げ方も一人ひとりちがう。規準のフォームどおりでなくともコーチはほとんど直さない。それ自分で編み出した流儀でやるのはむしろ当然で、それで巧くいくのならそれでいいらしい。これが日本だと、コーチがつきっきりで正しいフォームに直す。そのためにかえって

近頃やや改善してきたとはいえるが、我国スポーツ界では、変り種が生れて拡まるということは滅多はない。もし出てきたら、外国からの輸入と比べてまず間違いない。

たとえばテニスの両手打ち。今こそ御婦人のテニス教室でもすっかりお馴染だが、これでも輸入で、もう30年も前になろうか、両手打ちのセグラと異名をとった選手の来日が最初だった。これだって外人がどんどんやってるからということで一般化したので、そういう

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の隨想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。



写真提供 富士 信男氏

うことなしに日本人の誰かが突然両手打ちを発明した日には、たちまち邪道だと叱られやめさせられたに違いない。

引退したラグビーの名手、松尾は暗い学校時代を送った。私も創造性豊かな彼のプレーで初めてラグビーの面白さを知ったのだが、学校では監督によく殴られた。失神するほどやられたこともあった。たとえば片手バス、隣りでなく一人おいた味方へのバス。今でもめったに見られないから当時は全く異端で、「あいつにボールを渡すな!」とチームメイトにもソッポを向かれる始末。明大でも監督に嫌われた。

サッカーでも、ついこの間までアウトを使うと「生意氣だ!」と怒る人がいたものである。枚方FC出身の選手がアウトでロングバスを送ると、そこの先生に「まともに蹴れんのか!枚方はインステップの練習が足らん」と叱られた。大学への推薦を耳に引き抜かれた選手でむろんインステップも蹴れるが、甲が広く外側に体重がかかる大足のせいもある。アウトでロングバスなどなかなか正確には出せないので、私も立派な特技だと感心するけれども正統派のきびしいコーチにとっては立腹の種である。

誰でも他人の欠点は簡単に見つける。だが、慣習や自分のとはちがう流儀を理解し、良さを見つけることは難しい。他人の価値を過不足なく適切に評価できる能力は、普通何でもないように思われているけれども、実はかなり知的なもので一種の創造性だから、独創力の乏しい日本人には苦手なのである。

伝統の型や行動様式の方を重視する我国のコーチは技術とはフォームと思っているのかどうか、今のがフォームでこの成績なら矯正すればもっと良くなるに違いないと考える。

だから、いわゆる正しいフォームとの差異は放っておけぬ大問題で、至急改造してやろうといじくり回す。ましてラグビーの松尾みたいな文字どおりの型破りが総スカンを喰つたのは当然だろう。

モンブランの“スピードサッカー”



基本のフレームを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam & Lube/o

親しまれるサッカーウェア younger

MONTBLANC

リアル・スポーツの追求

モンブラン株式会社

神戸・東京・福岡